

いま社会に残されている課題の特徴は、“ひとりでは解けないものばかり”です。必要なのは、「多様な人が立場をこえて信頼関係を創り、ともにミライのありたい姿を共有する場」。

NTT 西日本は 2022 年 3 月、大阪・京橋の本社敷地に、オープンイノベーション施設「QUINTBRIDGE」を開設しました。

ここは、企業、自治体、大学、そして地域の人々など、多様な人々が集い、語り、行動できる“共創の場”です。

活動理念は“Self as We” — 「わたしの挑戦を、わたしたちの挑戦へ」。
自社の利益だけを優先するのではなく、会員同士の事業共創をオープンかつ中立的に支援する場として運営しています。

入会条件はただひとつ。

共創に向けたアイデアや課題を“持ち寄る”こと。

会員が持ち込むアセットこそが価値であるという『価値の転換』を行い、会費は無料としています。

法人会員は 2,100 社、個人会員は 2.8 万人を超え、属性を問わず思いをもつ多様な人々が毎日 300 名以上訪れています。

年間 450 件以上のイベントを開催。

その約 7 割が会員が企画するもので、

その結果、3 年半で 153 件の共創を創出しました。

共創の輪は今も拡大し続けています。

さらに、「地域に開かれた共創の場」であることも大きな特徴です。

近隣の商店街や学生を巻き込み、地域活性化にも貢献しています。

その影響は社内にも広がり、約 5,000 人の社員が自発的に会員となり、新たな「価値創造人材」が次々と育っています。

具体的な実績を 3 つご紹介します。

1、事業インパクト

スタートアップとの共創や新サービスの事業化による売上げへの貢献

2、ブランドインパクト

3,000 件を超えるメディア掲載を広告費なしで実現

3、人材育成インパクト

新たな価値創造人材の育成

これらの実績が、QUINTBRIDGE が生み出す成果を確かに示しています。

QUINTBRIDGE は、共創からミライをつくる場。
多様な人々が交わることで、これまでにない新しい価値が生まれていく。
これからも、多様性あふれる会員のみなさまとともに、ミライに向けた価値の
共創に挑戦し続けていきます。